

いつも大変お世話になっています。

ご無沙汰をしている方々もいらっしゃいますが、ようやく生活の基盤も整い、国政復帰に向けて、少しずつ活動を再開しているところです。

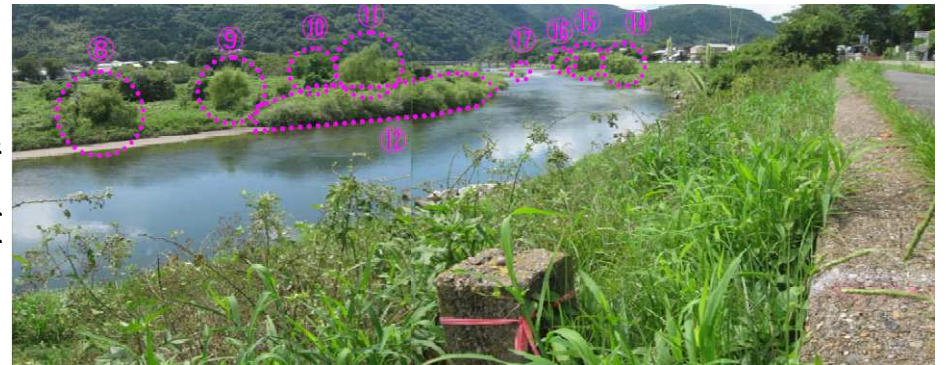
これまで地域で取り組んできたもので、大堰川・桂川の河川整備があります。昨年も台風18号で、ところどころ大変な思いをされた方々が出ました。私は、三年前の秋頃に、国交省に頼んで、嵯峨美大あたりから上流に向けて、三角州に生える草木の伐採をしました。それだけでは、治水の観点からは安心出来ないということで、「桂川嵐山地区河川整備検討委員会」が立ち上がりました。

昨年の台風被害を受けて、より抜本的に河川整備をする上で、地元の皆様のご意見を踏まえながら、この検討委員会で早急に検討がされています。「世界の嵐山」の景観に配慮しながら、川底の掘削や川幅を広げる事業を大車輪で進めていく必要があります。私も、引き続き、微力をつくしていきます。

もう一つは、私事ですが、この4月から同志社大学の大学院（総合政策科学研究科）で授業を受け持つこととなります。大学院生や社会人の聴講生と一緒に、政治や行政の問題点について大いに議論をしていきたいと思っています。

地元の活動を継続しながら、国政にも目を向けて、さらに邁進していきます。皆様のなお一層のお力添えを賜りますよう、宜しくお願いします。

着工前



着工後

